



2024年2月9日

CDP 気候変動分野で「A- (A マイナス)」の評価獲得

三和ホールディングス株式会社(本社:東京都新宿区/社長:高山靖司)は、国際的な環境非営利団体 CDP が実施した調査「CDP2023」の気候変動分野において、リーダーシップレベルである「A-(A マイナス)」(前は「B」)の評価を獲得しました。

CDP は、2000 年に英国で発足した国際的な非営利団体であり、2023 年は運用資産総額 136 兆米ドルを超える 740 以上の機関投資家などと協働し、企業に対して環境情報の開示を要請しています。CDP は独自の基準を用いて企業の環境分野に関する取り組みを調査し、8 段階(A、A-、B、B-、C、C-、D、D-)のスコアを付与しています。

当社グループは、持続可能な社会の実現に向け、CO₂排出量の削減目標「2030 年度目標:2019 年度比 30%削減(三和シャッター工業)」および「2050 年度目標:三和グループとして事業活動に伴う CO₂排出量実質ゼロを目指す」を策定し、省エネの推進、太陽光発電設備の導入など CO₂排出量削減へ向けた様々な取り組みを行っています。また、三和シャッター工業では、省エネルギーに寄与する高断熱商品・サービス「Re-carbo(リカーボ)」シリーズを展開し、お客様の CO₂排出量削減にも寄与しています。

今後も、環境負荷低減への取り組みを推進するとともに、脱炭素社会の構築に寄与する商品・サービスを提供することにより、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■三和ホールディングス サステナビリティサイト

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/csr/>

■三和ホールディングス 脱炭素社会へ向けた取り組み

<https://www.sanwa-hldgs.co.jp/csr/effort/environment/contributive/>